



# いずみさの昔と今 第259回

## 「泉佐野の鉄道〜JR阪和線〜」

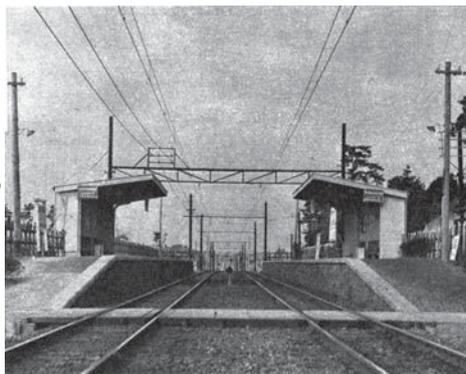
本市所在のJRの駅は、東佐野駅、日根野駅、長滝駅、りんくうタウン駅であり、熊取・関西空港の両駅は駅構内がそれぞれ熊取町、田尻町との境目に所在しています。年間乗降客は、熊取が最も多く、順に日根野、りんくうタウン、東佐野、長滝と続きます。また、日根野駅には電庫区が設置されており、和歌山行と日根野止まりの列車の結節点となっています。

JR阪和線の起点は古く、大正年間まで遡り、大正8(1919)年に喜多又蔵を発起人として35人により出願されました。そこに和歌山方面進出を計画していた京阪電気鉄道が合流し、阪和電鉄が創立されました。政府へ提出された「阪和電気鉄道敷設開陳書」には、「泉北郡泉南郡二アリテハ府道小栗街道二沿ヒ泉州ノ山ノ手線トシテ」

電鉄創立総会が行われ、昭和2(1927)年には建設工事が竣工し、阪和天王寺と和泉府中間が昭和4(1929)年7月18日、和泉府中と阪和東和歌山までが昭和5(1930)年6月16日に開業しました。開業に伴い南海鉄道は、難波と和歌山市間所要時間90分を75分に短縮しました。これに対し阪和電鉄も天王寺と和歌山間を昭和5年に55分、翌年48分、昭和8(1933)年に45分と短縮して対抗しました。同時期、南海電鉄が事業拡張を行い、浜寺海水浴場、淡輪遊園、飲食事業、少女歌劇など様々な兼業部門を有していくと、阪和鉄道も泉州および紀北を中心に乗合自動車、住宅建築などの不動産開発、砂川遊園などの娯楽事業を手掛けるなど熾烈な争いをくりひろげました。

しかし、昭和12(1937)年に勃発した日中戦争以後、戦時体制下へ移行するに至って昭和15(1940)年、阪和電鉄は南海電鉄へ合併、南海電鉄山手線と改称し、同19(1944)年には鉄道省に買収され、戦後の国鉄阪和線へとつながっていきます。現在の日根野駅は、阪和電鉄日根野停留所として開業し(熊取・長滝も同時に開業)、昭和6(1931)年に日根野駅に

格上げされました。東佐野駅は、阪和電鉄泉ヶ丘駅として昭和14(1939)年に開業し、昭和19年の買収時に東佐野駅へ改名され現在に至ります。阪和線は、本市中央部を通る府道大阪和泉泉南線、小栗街道に平行しつつ、先の「開陳書」にある「府道小栗街道二沿ヒ」の言葉のとおり、泉州の山側(山ノ手)を走る大動脈として大阪と和歌山を結んでいます。阪和電鉄の発足に奔走した人びとの努力なくしては今日の発展はなかったでしょう。



昭和25年頃の東佐野駅

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの  
☎469-7140 Fax469-7141  
休館日 月曜日、祝日(祝日が月曜日の場合はその翌日、日曜日の場合はその翌々日)  
開館時間 午前9時~午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
入館料 無料

消費生活センターだより

見守りリー→

相談はお早めにセンターへ!!

相談受付 午前9時~午後4時30分

南海線「泉佐野」駅前 ☎469-2240

## 平成28年度 消費生活相談状況

販売購入形態	件数
通信販売	245
店舗購入	185
訪問販売	100
電話勧誘販売	48
マルチ商法	12
訪問購入	9
その他無店舗	5
ネガティブ オプション	1
不明、無関係	196

■センター利用者数  
相談、見学、講座受講など:  
相談件数: 801件(苦情717件、問い合わせ84件)

内容	件数
インターネット関連サービス	169
新聞・書籍	34
健康食品	30
役務その他	27
インターネット接続回線	24
携帯電話	24
不動産貸借	21
融資サービス(借金など)	20
工事・建設	12
移动通信サービス	11

### 相談方法:

電話578件、来所223件  
被害救済額: 98件(2,087,108円)がセンターからの助言や業者への斡旋により解決

### 相談の特徴

内容による分類1位のインターネット関連サービスは、ワンクリック詐欺、架空請求詐

欺、アダルトサイト、出会い系サイトなどが主な相談です。また、サイトの請求に驚き、ネット検索した相談窓口で費用を請求されたという二次被害の相談などもありました。

2位の新聞・書籍は、新聞の解約トラブルに関する相談のほぼ半数が、60歳以上の人からによるものです。景品につられての契約、数年先からの契約、長期の契約などは避けましょう。

3位の健康食品は、ほとんど通信販売と電話勧誘での購入です。インターネットで安価なお試し商品を注文したら、気付かず

に定期購入になっていたという相談などです。20歳代と40歳代の人から多く寄せられています。5位のインターネット接続回線は、回線契約の執拗な勧誘やその解約時のトラブルなどで

す。このネットサービスは、内容が複雑でわかりにくく、業者の説明不足などもあるのです。トラブルが多く生じています。最近では、70歳以上の人からの相談が増加しています。家族や知人などの見守りがますます大事になっていきます。

困ったときは、まず消費生活センターへ相談してください。